



玉川通信

学校だより No.5
平成29年7月20日
昭島市立玉川小学校
校長 稲垣 達也

一学期中は御協力を賜り、感謝申し上げます。夏休みは、子供たちが大きく成長する極めて貴重な期間です。この39日間を一層価値あるものにするために、子供たちの自律的な生活を支援願います。

『休暇中の心得』 二宮尋常小学校(神戸)「夏休みのお知らせ」(大正11年)より

- いよいよ楽しい夏休みがきた。悪いことさえしなければ、何をして暮らしてもよい。
- うんと遊んで、勉強を試みたくなった時は、おさらい(復習)をするがよい。
- 野にも、山にも、川にも、海にも、その他どこに行っても、勉強の材料がたくさんある。それらについて調べてみるのが本当の勉強である。
- 手工の自由製作をしたり、玩具を工夫してこしらえたりすることは面白いことである。
- 植物を栽培したり、押し葉をこしらえたり、動物を飼育したりすることも良い作業である。
- 種々の品物について、その製作順序を調べたり、原料を集めたり、物価表をこしらえたりすることも有益なことである。
- 旅行をした時は、その地方の産物や絵葉書などを集めたりするがよい。
- 夏休みは良き芸術に触れ、良き本を読むための最もよい時間である。
- 休み中調べた事柄や、製作した物や、集めた物などは、大切に残しておいて、休み後、学校で開かれる陳列会に出品し合うのは楽しいことである。
- 登山をしたり、水泳に行ったり、遠足をしたりして、体を鍛えることも良いことである。
- 綴り方(作文)の良い材料をよく見つけておくことも忘れてはならぬ。
- 綴ってみたくになったら綴るがよい。

☆100年近く前の「心得」ですが、今も通じることがたくさんあります。参考にして下さい。

今年の夏休みから、新たな取組がスタートします！！

サマースクール

水泳指導の前後にも参加できます。

- 7/24(月)~28(金)
- 受付 8:15~8:30
- 12:00 まで3部制
- 夏休みの課題や自主学習に取り組む

家庭訪問

学校と家庭の連携を深めます。

- 7/24(月)~8/4(金)
- 通学路を知る
児童理解を深める
- 方法 10分間程度
玄関先にて

くじらーニング

無料で活用できるデジタル教材です。

- ラインズeライブ
ラリーアドバンス
- 自宅パソコン等で、希望の学年・教科のドリル学習が可能

読書感想文講座

特別講師をお招きして指導します。

- 7/25(火) 午後
- 読書感想文の書き方のコツを学ぶ
1・2年 親子で
3・4年 児童のみ

※ 全て希望制です。詳しくは、それぞれの通知文で確認願います。登下校の安全に留意下さい。

夏休み中も、困ったときは御相談下さい！

自然災害、交通事故、ネットのトラブル、不審者等々から命を守るためには、事前の備えが必要です。困ったときは御相談下さい(在校時間8:15~16:45に。但し、土日と8/9~8/16は閉校日で不在)。

いじめ

悩んでいたら、いつでも相談してください。どの先生でもOKです。関連URL
<http://www.mext.go.jp/ijime/>

自然災害

まず自分の命を守り、次に身近な人を助け…。
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr120126-2.htm>

交通事故

子供の事故のほとんどが自転車によるもの。
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/bicyclette/>

情報モラル

携帯電話やインターネット等によるトラブルが急増。重大な人権侵害も！！
<http://www.tokyohelpdesk.jp/>

不審者

子供を犯罪から守るチェックポイント。
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/kodomo/checkpoint.html>

↑ 高橋みなみ(元AKB48メンバー)さんのインタビューなどが掲載されています。

評価の項目・指標・基準などの詳細は、中面をご覧ください！

みんなの力が 学校を支え 学校を変える

今年度から、保護者や地域の皆様の意見（評価）を学校運営に反映できるように、学校関係者評価の方法を一新します。これにより、学校とともに保護者等が知恵を出し合い、地域全体で協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。



目的

学校運営の改善と発展

学校として目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さを検証することにより、組織的に学校運営を改善する。

教育の質の保証・向上

評価結果を踏まえて、教育委員会が、学校に対する支援・改善等の必要な措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

家庭・地域との連携

自己評価や保護者等による評価の実施、結果の公表により、保護者や地域からの理解と参画、協力を得て、信頼される開かれた学校づくりを進める。

みんなの力が
学校を支え
学校を変える

流れ

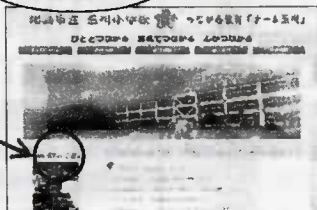
1. 学校評価アンケート

児童、保護者、教職員の三者で、同じ項目でアンケートを実施し、自己評価の資料とする。

2 自己評価

校内の部会で、具体的な指標に基づき自己評価を行う。自己評価結果と改善の方策を評価委員会に報告する。

情報提供



学校日記

3 学校関係者評価委員会

学校の教育活動の観察や意見交換をしながら評価する。『学校関係者評価書』を校長に提出する。

4. 学校関係者評価の総括

学校関係者評価書を踏まえ、改善方策の見直しなど、学校として『学校関係者評価報告書』を取りまとめる。

5 公表と説明、報告

ホームページや通信等で公表するとともに、教育委員会に報告し、学校改善を図っていく。

6. 教育委員会の支援

評価結果に基づき、教育委員会が、学校運営の改善を図るため必要な措置を講じる。

皆さまに、お願いしたいこと

アンケートだけで、学校評価を曖昧にしないために…

① うわさや印象ではなく、学校の状況をよく見て、把握して下さい。

→ 学校：年19回の学校公開、学校Web・ブログ・便りなど情報発信に努めます。

② 学校評価アンケートで、厳正な評価と率直な御意見をお願いいたします。11月頃

→ 学校：学校評価シートで、評価内容から次年度の改善案まで一覧で示します。



今年度の体罰ゼロ宣言（本校のスローガン）は、

『子供は、未来の守護者』と決定しました。この理念を大切にして教育にあたります。